



《Footprints of History: Fireworks Project for the Opening Ceremony of the 2008 Beijing Olympic Games》(2008) Commissioned by The International Olympic Committee and The Beijing Organizing Committee for the Games of the XXIX Olympiad [Ephemeral] Photo: Hiro Ihara, Courtesy of Cai Studio



ツァイ・グオチャン (蔡國強) Cai Guo-Qiang
Photo: Javier Molina
Courtesy of Museo Nacional del Prado

ししょう(後略)「
を魅してくれ
醸し出して私
不思議な雰
ければあり
京都で開催
プロジェクト
厚みとの共
現と重厚な
待されます。
想像力を大
いて制作す
歴史が息づ
的に、日本
の会場には
シミュラク
的に、日本
歴史が息づ
いて制作す
待されます。

イベントのメインプログラムとも言える大規模な国際展「アジア回廊現代美術展」だ。アジア回廊のアーティスティック・ディレクターを務める建昌哲は、次のように語る。「アジア回廊」という言葉には、東アジア文化都市のプロジェクトが様々な地域の文化芸術の豊かさに直接に触れ、感動を共にする場となり、またそのことが少しでも寛容で融和な社会の形成に寄与するものであってほしいという願いがこめられています。「アジア回廊」の回廊とは単に移動することだけを目的とするので

はなく、むしろそこを巡り歩くこと自体を楽しむことができるような魅惑に満ちた場所なのです。(中略)「アジア回廊」は美術館における展覧会などとは違って、京都ならではの時間の陰影を深く宿した場所で開催されるアートの祝祭です。その会場にはテーマパークのようなシミュラクルでの祝祭とは対極的に、日本の近世や近代の現実の歴史が息づいており、現地に向いて制作するアーティストたちの想像力を大いに触発することが期待されます。先端的、実験的な表現と重厚な伝統の厚みとの共存は、京都で開催されるプロジェクトでなければありえない、不思議な雰囲気醸し出して私たちを魅してくれましょう(後略)「

東アジア文化都市 2017 京都 現代美術部門 アジア回廊 現代美術展



日中韓の現代アーティストを紹介する 大規模現代美術展。



《南瓜》
フォーエバー現代美術館蔵
「草間彌生 わが永遠の魂」展
国立新美術館 (2017)
展示風景
© YAYOI KUSAMA



草間彌生 Kusama Yayoi © YAYOI KUSAMA

「東アジア文化都市」とは、日中韓文化大臣会合での合意に基づいて2014年に誕生した事業で、毎年各国の都市3箇所で開催される文化芸術イベントが集中的に実施される。日本の開催都市は横浜市から始まり、一昨年は新潟市、昨年は奈良市と来て、今年が京都。なお、中国は長沙市、韓国は大邱広域市が今年の開催都市となっている。それぞれの都市で現代の芸術文化や伝統文化、あるいは多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等をおこなうことによって、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進し、同時に東アジアの多様な文化の国際発信力を強化することを目指すものだ。

「東アジア文化都市2017京都」の開催期間は2017年2月～11月であるが、コア期間はまさに「芸術の秋」にあたる8月～11月に設定されている。そして、ほぼこの時期と重なるように実施されるのが、この

会期：8月19日(土)～10月15日(日)